

余裕期間制度の概要

■概要

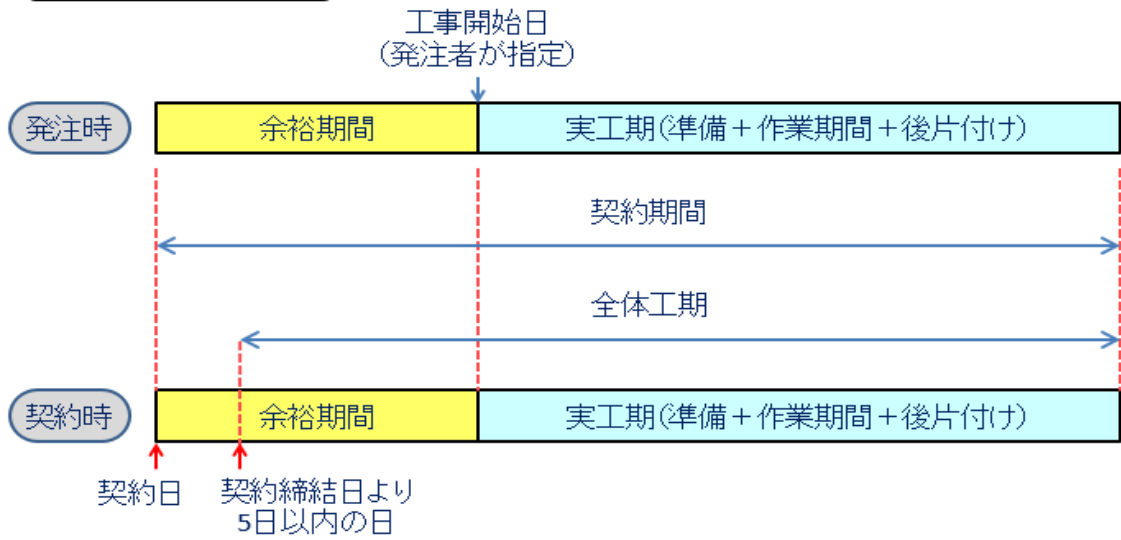
- 契約ごとに、契約日から工事着工日までの間に実工期の30%を超えずかつ180日(委託は120日)を超えない範囲内の期間を設ける制度
- 着工日を発注者があらかじめ指定する「発注者指定方式」、受注者が設定する「任意着手方式」の2種類を設ける。
- 実工期はこれまでの契約工期と同期間。

■効果

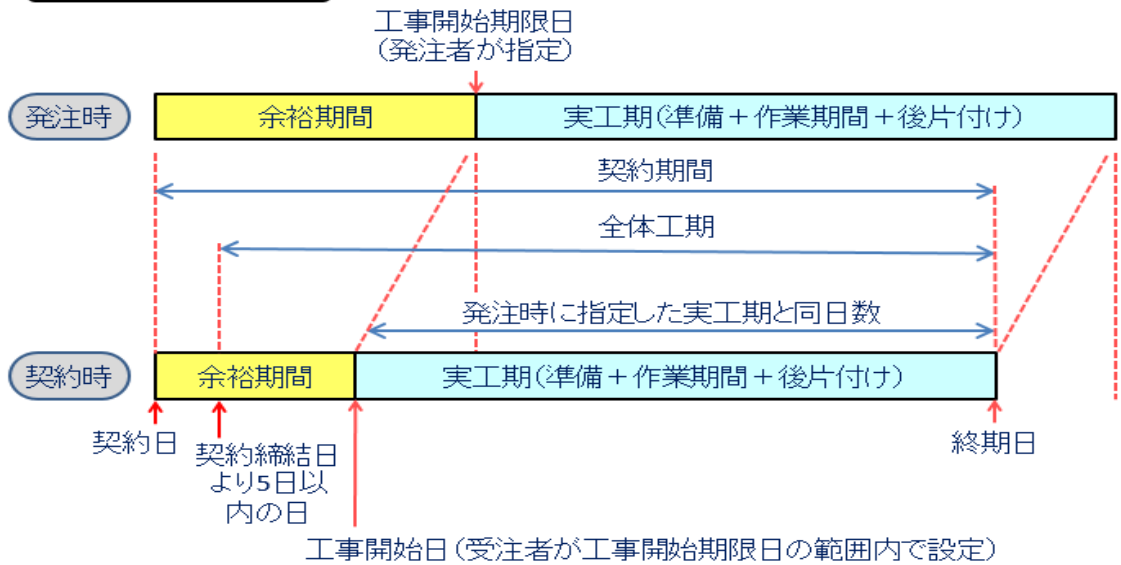
- 余裕期間に、余裕をもって労働者および資機材の確保などの準備を行うことができ、受注者は円滑な施工体制の整備を図れる。
- 余裕期間中は監理技術者等の配置が不要であり、受注者は早期に契約し、柔軟な技術者の配置を行うことが可能。

(工事)

① 発注者指定方式

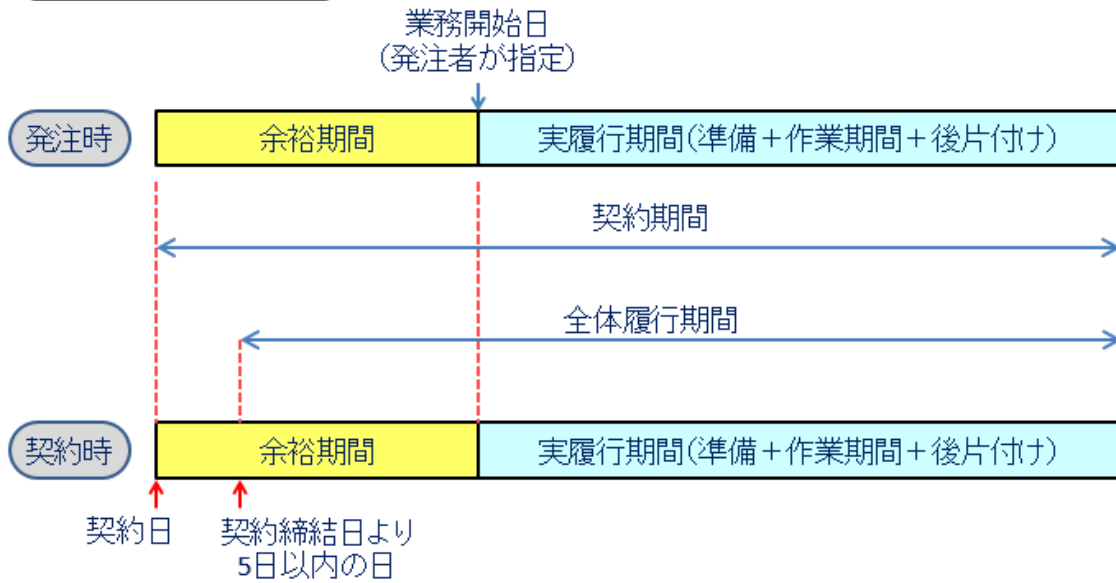


② 任意着手方式



(委託)

① 発注者指定方式



② 任意着手方式

